

新年の迎

— 第24号 —

令和6年(2024年)1月発行
発行者 一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
山口県山口市大手町9-6
TEL 083-928-5432
FAX 083-928-5436
(障害者ホットライン専用)
TEL 083-928-5580
メール: webmaster@syogai35.com
HP: https://syogai35.com/



山口県知事 村岡 嗣政

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、より良い年となりますことを心からお祈り申

上げます。

山口県身体障害者団体連合会におかれましては、平素から、県の取組と連携いただきながら、障害者福祉の向上に積極的に取り組んでおられますことに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

コロナ禍を乗り越え、初めての新年を迎えました。全世界で人流・交流が活発化し、日本経済が改善しつつあることから、これを追い風に、県づくりを新たなステージに引き上げていかなければなりません。

そのため、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、「やまぐち未来維新プラン」に基づき、産業維新・大交流維新・生活維新の「3つの維新」の取組を一層加速し、成果を着実に積

み重ねていくことで、本県の更なる発展に確かな道筋をつけ、大きく飛躍していく一年にしていくことが必要です。

私は、県民誰もが、山口ならではの豊かさや幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けて、県政の様々な分野で、県民の皆様に目に見える確かな成果をお届けしていく、このことに全力を挙げて取り組んでまいります。

とりわけ、障害福祉の向上については、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくり条例」に基づき、障害を理由とした差別の解消や、障害理解の促進に向けた取組を一層強化し、障害の有無に関わらず、皆が支え合い共生する地域社会の実現に向けた取組を、さらに推進してまいります。

こうした取組を進めるためには、今後とも、貴連合会の皆様のお力添えが大きな力になると考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口県身体障害者団体連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
会長 宮原 博之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より連合会活動へ物心共にご理解ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、令和6年4月より障害者差別解消法に於いては「合理的配慮」の提供が民間事業者へ対しても義務化とされます。これに先駆けて既に山口県に於いては令和5年4月に条例により義務化とされております。我々「共生社会の実現」を目指す者としてはより一層の努力により活動を活発化させていかななくてはなりません。連合会としましても要望活動ごとにこの事をテーマとして陳情を行っております。

社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)とは、社会的に弱い立場にある人々をも含めひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。社会的排除反対の概念で誰一人排除しない社会を作り上げようとしております。このような観点から、障害のある人も社会活動の色々なシーンに存在して当たり前なのです。障害の特質を知って頂き、どんな対応をすれば良いかを理解していただけるよう、その周知活動として「あいサポート活動」が進められております。そのためにも障害のある方々の社会参加がとても大事であると考えているところです。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を祈念いたすとともに本年もよろしくお祈り申し上げます。



一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
常務理事 大下 博

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、平素より当連合会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、障害者の社会参加推進に関する事業に、ご支援を頂いております皆様方に対し厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年11月より事業名「障害者ICTサポート総合推進事業」(県委託事業)を受託し「障害者ICTサポートセンター」を設置いたしました。デジタル社会の実現を図るため、デジタル機器の活用による不安のある障害のある方が利便性を享受し、障害のある方のICT機器(スマホ、タブレット、パソコンなど)の利用機会の拡大や障害者等の情報アクセシビリティ向上のため機器の基本操作、アプリの使用方法についてサポートしてまいります。

ところで、私ことですが、ミライロID使用中です。ミライロIDは、障害者手帳の情報をスマートフォン内に取り込み、外出する障害者の便利を実現してくれるアプリです。株式会社ミライロ(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:垣内俊哉)が2019年7月にリリースした障害者手帳アプリです。

また、JR障害者割引乗車券のネット販売開始予定~サービス開始時期~ JR東日本(えきねっと)2024年2月(予定)・JR西日本(e5489)2024年春頃(予定)の情報がありません。いずれも内容を、ぜひご自分でよく確認してみてください。

結びに、この1年が、皆様にとりまして、良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

★栄えある受賞おめでとうございます★

山口県身体障害者団体連合会会長表彰

令和5年10月27日(金)「スターピアくだまつ」にて開催された第73回山口県総合社会福祉大会にて表彰式が行われました。

会長表彰	山口市	重本 淳	山口市障害者団体連合会
	山口市	林 栄子	山口市障害者団体連合会
	柳井市	青木 英樹	柳井市身体障害者わかな会
	阿武町	小田 知枝子	阿武町身体障害者福祉協議会
功労表彰	下関市	新谷 紀夫	下関市身体障害者団体連合会
	下関市	田畑 豊子	下関市身体障害者団体連合会
	山口市	市川 環	山口市障害者団体連合会
模範障害者表彰	下関市	竹下 勝美	下関市身体障害者団体連合会
	山口市	小田 美智子	山口県腎友会
	防府市	繁澤 信子	山口県腎友会
	光市	藤本 富美子	山口県腎友会

令和5年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰

柳井市	大下 博	柳井市身体障害者わかな会 会長 (特定非営利活動法人松久会 理事長)
-----	------	------------------------------------

第29回 山口県障害者芸術文化祭

式典およびステージ部門 12月2日(土) カリエンテ山口

応募作品270点の中から選ばれた受賞作品27点の表彰式を開催しました。



4年ぶりに再開されたステージ部門では4団体が出演し日頃の練習の成果を思う存分発揮しました。



西京太鼓

高木智弘さん

スウィートポップコーン

同朋太鼓

応募作品展示会 11月21日(火)～11月30日(木) 山口県政資料館

たくさんの個性あふれる力作が展覧され、その作品に込められた作者の想いを感じとることができました。作品は絵画95点/書道34点/写真44点/手工芸54点/文芸14点/俳句短歌29点と特別出展(前年度最優秀賞)2点が出展され、11月16日の審査会にて最優秀賞/優秀賞/特別賞が決定しました。



令和5年度山口県身体障害者・知的障害者相談員研修会 10月17日(火) 山口県社会福祉会館



相談員や行政関係者等70名の出席があり、講演後の質疑応答の時間では、積極的に様々な質問や意見が挙がり、とても有意義な時間となりました。

講演Ⅰ「障害者福祉施策の動向について」

講師：山口県健康福祉部 障害者支援課

講演Ⅱ「健康づくりの推進について」

講師：山口県健康増進課 健康づくり班

講演Ⅲ「山口県の防災対策について」

講師：山口県防災危機管理 防災企画班

講演Ⅳ「障害福祉サービスについて」

講師：京都文教大学 臨床心理学部 二本柳 覚 氏

わくわく体験教室・ステップアップいきいき講座

10月21日(土) 山口県身体障害者福祉センター

● 書道講座 (第3回) ●

「書道を自由楽しもう!」をモットーに、山口県障害者芸術文化祭の応募作品展示会出展作品に取り組む方、書を楽しむ方、それぞれ講師

のアドバイスを
受けながら、素
敵な作品が仕上
がりました。



● 花の寄せ植え講座 (第2回) ●

講師から花の寄せ植えに
ついての配置や色のバラ
ンス、植え方のポイント等、
丁寧にわかりやすくご指導
頂き、参加者はオリジナル
の作品を楽しんで作り上げ
ることができました。



第38回障害者による書道・写真全国コンテスト

全国より応募された書道部門941点、写真部門233点の中から選ばれた山口県入賞者の皆さんです。

部 門	賞	氏 名	題 名
書道部門	銀 賞	梅 地 鶴 代	唐・杜牧 作
	銅 賞	下 瀬 教 子	明るい声
写真部門	金 賞	谷 口 英 雄	あっ!ダメだった
	銀 賞	三 井 秀 典	干潟の夕日

県身連加盟団体紹介 No.4

山口市障害者団体連合会の活動



山口市の障害者が互いの悩みを共有し情報交換を行いながら交流活動を行うと共に、障がいのある人とない人が、相互理解を深めつつ楽しく和やかに交流し「共生社会の実現」を目指すことを目的とし、毎年「山口市ふれあいレク大会」を開催しています。

午前中は山口市障害者団体連合会会長表彰の表彰式に始まりビンゴ大会の開催、午後からはレクリエーション(卓球、ポッチャ、輪投げ、オセロ)で交流を深めました。

参加者はそれぞれ好きなレクリエーションを楽しみ、初めての種目にチャレンジされる方もいらっしゃいました。

コロナ禍で行事の自粛や縮小が余儀なくされてきた数年でしたが、今また「山口市ふれあいレク大会」を開催することができ、会員の皆さんが元気に再会することができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



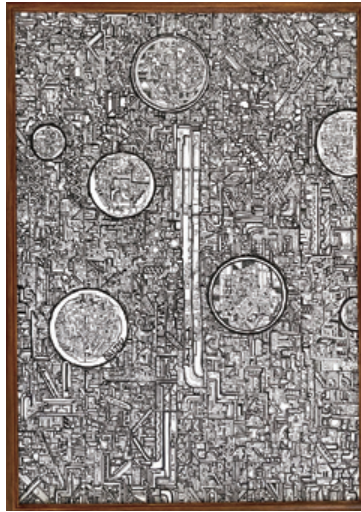
応募作品展示会受賞作品

文芸
光市 私らしい生活
吉岡 泰子

優秀賞（山口市長賞）



手工芸
柳井市 楽しいレッスンバッグ
神月 理枝

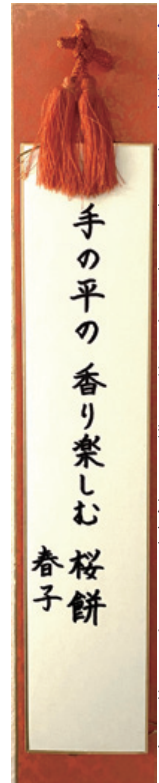


絵画
山口市 覚醒
宮崎 大樹



書道
山口市

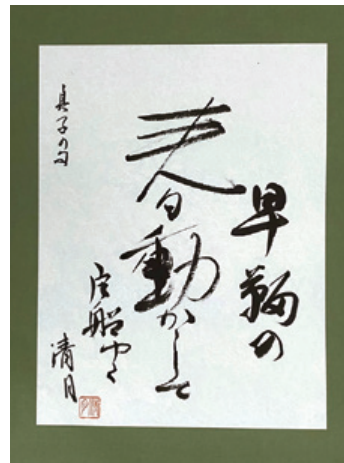
「早鞆の春動かして巨船ゆく（池松貞子の句）」
梅地 鶴代



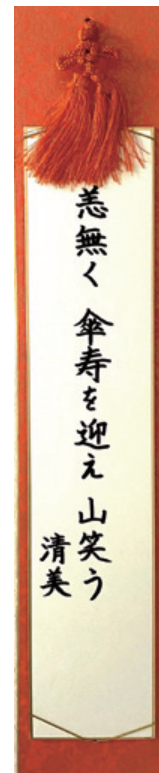
俳句短歌
下関市 手の平の香り楽しむ桜餅 山下 春子



写真 防府市 家路 佐藤 ちよ子



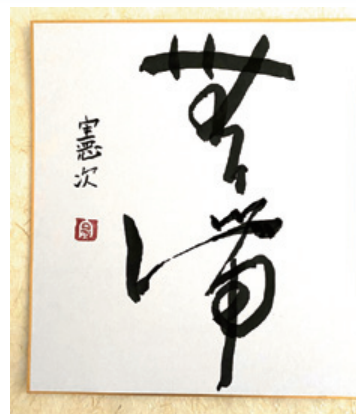
書道
下関市 無滞
山城 憲次



俳句短歌
下関市 恙無く傘寿を迎え山笑つ 川本 清美

優秀賞（山口県社会福祉協議会長賞）

手工芸
山口市
みんなちがってみんないい
高田 湧子



書道
下関市 無滞
山城 憲次

写真
下松市 薄暮
松村



絵画
山口市 あこがれ
中村 憲司



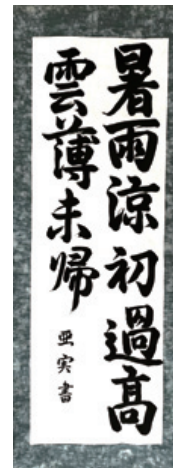
優秀賞 (山口市社会福祉協議会長賞)



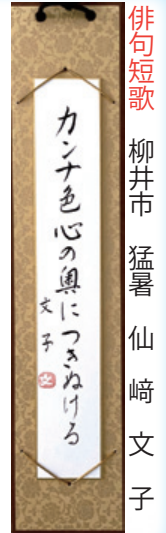
手工芸 山陽小野田市 春夏秋冬
西川和枝



絵画 下関市 腐された王様
須田良春



書道 防府市 夏の夕立のあと
田中亜実



俳句短歌 柳井市 猛暑 仙崎文子



写真 山口市 着陸体勢
谷口英雄

特別賞 (山口県障害者社会参加推進センター所長賞)



書道 山口市 くり
福岡優璃



絵画 周南市 希望
櫻井一城



絵画 下松市 たくさんの夢
SUSU(すず)



手工芸 山口市
みんなちがって、みんないい
社会福祉法人ひらきの里



絵画 柳井市 夢のコラボ
寺岡章



表彰式フォトセッション

国立県営 広島障害者職業能力開発校

障害のある方々に、様々な職種についての知識や専門的な技術、技能を習得していただくために、職業能力開発促進法に基づいて国が設置し、県が委託を受けて運営する職業能力開発施設です。(授業料無料 寮有り)

ただいま令和6年度4月入校生募集中です。
募集期間 令和6年2月2日(金)まで

訓練期間	訓練科目	定員
2年	CAD技術科	13名程度
	情報システム科	2名程度
1年	OAビジネス科	16名程度
	音声パソコンコース (OAビジネス科)	3名程度
	事務実務科	5名程度
	総合実務科	27名程度
6か月	チャレンジコース (総合実務科)	3名程度

※詳しくは、ホームページ 又は、お問い合わせください。

【お問い合わせ】

広島障害者職業能力開発校
〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目1-23
TEL082-254-1766 FAX082-254-1716
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/>



校舎の風景



実習風景 (CAD技術科)

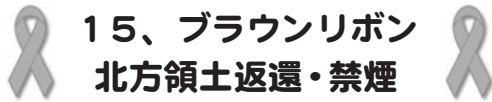
又は、居住地を管轄する公共職業安定所 (ハローワーク)

リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか??

No.15

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを“アウェアネス・リボン”と言います。アウェアネスとは、気付き・認識という意味です。

そして、身につけたりブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとするのがボランティア活動にもなります。



15、ブラウンリボン 北方領土返還・禁煙

北方領土返還要求運動のシンボルマークです。北方領土問題の早期解決実現のためには、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすことも重要です。そのため底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要です。それを実現するためには、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効と考えられブラウンリボンができました。北朝鮮の拉致問題のシンボルマークのブルーリボンと同じ形の色違いです。色は土地をイメージしたブラウン(土色)で、「人の拉致(ブルーリボン)」に対し北方領土問題は「土地の拉致」として、関心を相乗効果的に持ってほしいと思います。

公益社団法人 北海道倶楽部HP参照

リボンの色と意味	
1イエロー	障害者の自立
2オレンジ	児童虐待
3シルバー	発達障害
4パズルリボン	自閉症
5ピンク	乳がん
6ホワイト	妊産婦の命を守る
7きみどり	親子の絆
8透明	見えない障害
9うぐいすリボン	表現の自由
10そら色	性同一性障害
11レインボー	同性愛
12ゴールド	小児がん
13グリーン	移植医療普及
14レッド	エイズ
15ブラウン	北方領土返還・禁煙
16テール&ホワイト	子宮頸がん
17ブラック	哀悼・ネット上の自由
18フラグリボン	9.11の犠牲者へ
19パープル	女性に対する暴力根絶
20ブルー	拉致問題

※リボンの種類は他にもあります

山口県精神保健福祉会からののお知らせ

精神や知的障害、心の病、認知障害等に関しては、外観からは分かりづらい障害ということもあり、障害のない方の、障害に対する知識やご理解、また日常のコミュニケーションスキルの向上が、外観からはわからない障害のある方へのサポートに直結します。その為、コロナ禍の規制が緩くなった今年度は、地域の方が集う認知症カフェ、絵本の読み聞かせなどの、1~2か月に一度の定期的なイベントに関わり、障がい者をテーマにした内容を織り交ぜて、障害のない方の知識を深め、考えていただけるような取り組みを積極的に行いました。次年度も、障害のある人もない人も共に暮らしやすい山口県づくりに向けて、更に内容を充実させつつ、ホームページ等の情報の発信にも力を入れて参ります。

お問い合わせ先

山口県精神保健福祉会 TEL・FAX 083-929-3757

Mail kokoro-or8778@outlook.jp <https://komaca.app/kokoro87-red>

〒754-0231 山口市大内氷上3丁目6-2



山口県手をつなぐ育成会からのお知らせ

8月 母親（父親）フォーラム

今年のテーマは『障がい者家族の終活～親なきあとの準備～』2つの大きな問題は、「お金のこと」「誰にサポートしてもらうか」親・家族として直面する課題について、司法書士の方を講師にお招きし、後見制と信託の違い、遺言の重要性など事例を踏まえ学んだあと参加者で考え合いました。講師への質問も後を絶ちませんでした。



9月 第48回手をつなぐ育成会福祉教育振興山口県大会（周南ブロック大会）



下松市で開催した県大会はコロナ禍を経て4年振り対面での開催となりました。式典では本人会会員による意見発表や本人決議の発表も行い、当事者としての意思を多くの参加者に伝えることができました。全体会では、講演「その人らしい人生を描ける社会を」の後シンポジウムを行い、本人大会話し合い部会では「健康に働き続けるために」の講演及び話し合い、本人大会レクリエーション部会では生演奏の音楽を楽しみ、それぞれに「共生社会の実現」を考え、感じた1日となりました。



《問い合わせ先》

山口県手をつなぐ育成会事務局（担当：早川）

〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内 Tel083-925-2424 Fax083-925-2212

山口県知的障害者福祉協会からのお知らせ

第33回山口県知的障がい施設福祉振興大会（下関市）

令和5年11月9日（木）下関市菊川ふれあい会館にて、秋晴れの中第33回振興大会が開催されました。



安岡苑の迎え太鼓に歓迎され、県内各施設より320名の皆様に参加されました。講演は『“生きがい・やりがい・支え合い”を目指して』をテーマにかねはら小児科 院長（社会福祉法人じねんじょ 理事長）金原洋治先生のお話を伺い、とても盛りある大会となりました。

第60回中国地区知的障害関係施設親善球技大会

令和5年9月24日（日）維新百年記念公園にて、4年ぶりとなる中国地区親善球技大会が山口市維新百年記念公園にて開催されました。

中国各県より約120名が参加される中、山口県は団体戦5部門、個人戦8部門で一位を獲得しました！

ご参加いただきました選手の皆様大変お疲れさまでした。

一般財団法人山口県知的障害者福祉協会（事務局担当：小野 香）
〒753-0072 山口市大手町9-6社会福祉会館内
TEL:083-925-2424 FAX:083-925-2212
E-mail:yamachifuku@alpha.ocn.ne.jp

山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）からのお知らせ

令和5年11月21日（火）～22日（水）の2日間、山口市内にて令和5年度第4回研修会「どうなる!?これからの障害福祉サービス～令和6年度報酬改定を見据えて～」を開催しました。（写真 グループ発表）

1日目は厚生労働省の照井直樹氏を講師に、令和6年度の報酬改定について最新の審議会情報を基に解説いただき、2日目は事業種別の課題とその対応方策についてグループワークを行いました。

次回第5回研修会は令和6年3月5日（火）午後、株式会社安全な介護 代表取締役山田滋氏を講師に「支援現場でのヒヤリハット事例をもとにリスクマネジメントを考える」をテーマに山口県社会福祉会館4階大ホールにて開催予定です。詳細が決定次第、障サ協ホームページ等で御案内いたしますので、ご期待ください。

■問合せ先■

山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）事務局
〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内
社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 総務企画部 福祉振興班
TEL：083-924-2799 FAX：083-924-2798
E-mail：syougai@yg-you-i-net.or.jp HP：https://ymg-sfs.jp

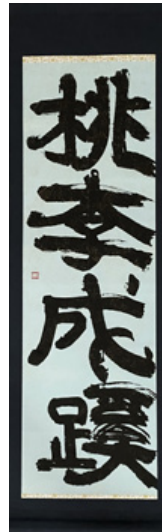


第29回 山口県障害者芸術文化祭応募作品展示会 最優秀賞（山口県知事賞）受賞者感想

絵画『トップスター』 下関市 Atsuki



僕は、ダチョウを描きました。ダチョウは羽根が豪華です。だから、タイトルは、「トップスター」にしました。ダチョウは、目がきれいで、ピンクのくちばしがかわいいです。僕は動物が好きです。だから、動物に会いたくなります。会えると嬉しいです。またいろんな動物を描いてみようかなと思います。みんなが動物を好きになったらいいと思います。



書道『桃李成蹊』
萩市 嶋田 浩伸

私は小学一年生から書道を始めました。高校生になってからは隷書体を学び、十八歳の時から山口県障害者芸術文化祭に出展しています。このたび、最優秀賞をいただき、驚いています。『桃李成蹊』とは、頑張っている人の周りには多くの人が集まってくることを意味します。私も日々努力をして自分を磨き、たくさんの友達を作りたいと思っています。これからも学び続けて、自分にしか書けない字を書き続けたいです。

写真『激祭』 山口市 井上 昇

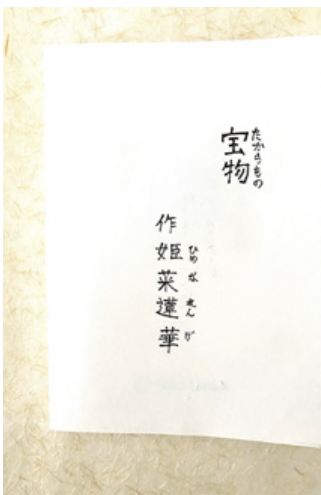


この度は、名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございました。（写真は、多くの見物客さんの間から覗き撮影しました）私は、カメラを持っての外出は、健康の源か、と想います。そして、次へと、ファイトも湧き、元気が出て来ます。一方写真愛好者との「ふれあい」も出来て、楽しく存じます。今後も希望を持って参りたいと思います。結びに、芸術文化祭に尽して下さり感謝申し上げます。ありがとうございました。

手工芸『もぎたてフルーツ王国』
防府市 防府保養院 デイケアセンターはばたき



この度は、最優秀賞を頂き有難うございました。今回の作品はメンバー 11名が羊毛フェルトを使用して多種多様な果実を作製し、それをまとめたものです。果実の外見はみな違い、それぞれが美しい色を放っています。そして中身を開いてみなければ、決してその味は分からないものです。それはきっと人間も同じだと考えます。これからも私たちは、それぞれが持つ個性を理解し合い、手を取り合っていきたいと思っています。



文芸『宝物』
防府市 竹重 恵

この度は、名誉のある賞を頂きありがとうございました。そして、作品を拜見して下さった皆様ありがとうございました。私は、幼き頃から制作が好きになりこれまで続けてまいりました。とくに文芸は、私自身の夢。作家をめざすと言う目標になりました。これからも詩や物語を書き続けたいと思います。



俳句短歌
『夏の夜 肩ぐるまされ 星つかみ』
下関市 倉田 誠一

子供の頃、宇部の港まつりの花火大会に祖父ちゃんに連れて行ってもらい、肩車されていた時、星が綺麗で掴めるのではと思って手を伸ばした、その当時の楽しい思い出を俳句にしました。俳句教室に通って、足掛け三年になりますが、このような素晴らしい賞をいただき、とても驚いていると同時に大変嬉しく思います。これからは、さらに精進して頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。